

平成30年度



葉山町社会福祉協議会

事業計画書

Hayamashakyo 2018



社会福祉法人

葉山町社会福祉協議会

住 所： 葉山町堀内2220

TEL:046-875-9889

FAX:046-876-1873

<http://www.hayamashakyo.com/>

平成30年度の重点的な取り組み

葉山町社会福祉協議会の使命

年齢や障害のあるなしに関わらず「生きづらさ」を感じている人が、いつまでも「地域の一員」として暮らし続けられるよう、一人ひとりの生活問題を原点にしながら、本人の強み、日常生活圏域を基本に地域のあらゆる資源を活用し、資源がなければ住民と共に作りあげる。本人の自立支援と福祉のまちづくりを一体的にすすめてまいります。

平成30年度の運営方針

近年、ライフステージを経ていく中で生じるさまざまなニーズやリスク、貧困、虐待、孤立死、自殺、ひきこもり、ごみ屋敷など解決になかなか至らない複合的な要因を持つことが多い深刻な福祉課題・生活課題、こうしたことがいずれ自分自身の問題となるのではないかといった不安を持つ人は少なくありません。これらの問題発生には、さまざまな要因がありますが、少子高齢化、人口減、経済社会の変化などにより、家庭、地域社会等の相互扶助機能が急速に力を失ったことと強くかかわりがあります。そして、問題の解決には既存の社会保障・社会福祉制度だけでは限界があり、十分に対応しきれていないのが現状であることは言うまでもありません。

そのような状況の中、5年後、10年後、そして将来に向けて、制度内の福祉サービスを充実させていくことは無論、自分たちのまちをどのような地域にしたいのか。今、全国の市区町村で、地域における助け合い活動を「地域の視点（住民を中心とした多様な主体）で広げてみよう」という我が事・丸ごとの地域づくりへの取り組みが始まっています。

平成30年度は、公私協働で地域福祉を進めるための中期計画である「葉山町地域福祉推進プラン」を着実に推進していくとともに、地域福祉を推進する要となる役割を担っている社会福祉協議会としての組織特性を生かしながら、生活上の困難を抱える方が自立した生活を送ることができるよう総合的な相談支援機能を発揮した生活支援と、地域住民による支え合いと公的支援が連動し、地域を『丸ごと』支える包括的な地域支援体制の構築をすすめ、切れ目のない支援に取り組んでまいります。

<重点的な取り組み>

法人運営部門

- 経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上等に努めます。
- 資産の効率運用等による積極的な事業財源確保を行います。

住民福祉センター部門

- 介護保険「生活支援体制整備事業」第2層生活支援コーディネーターを配置し、第2層生活支援協議体を設置運営します。

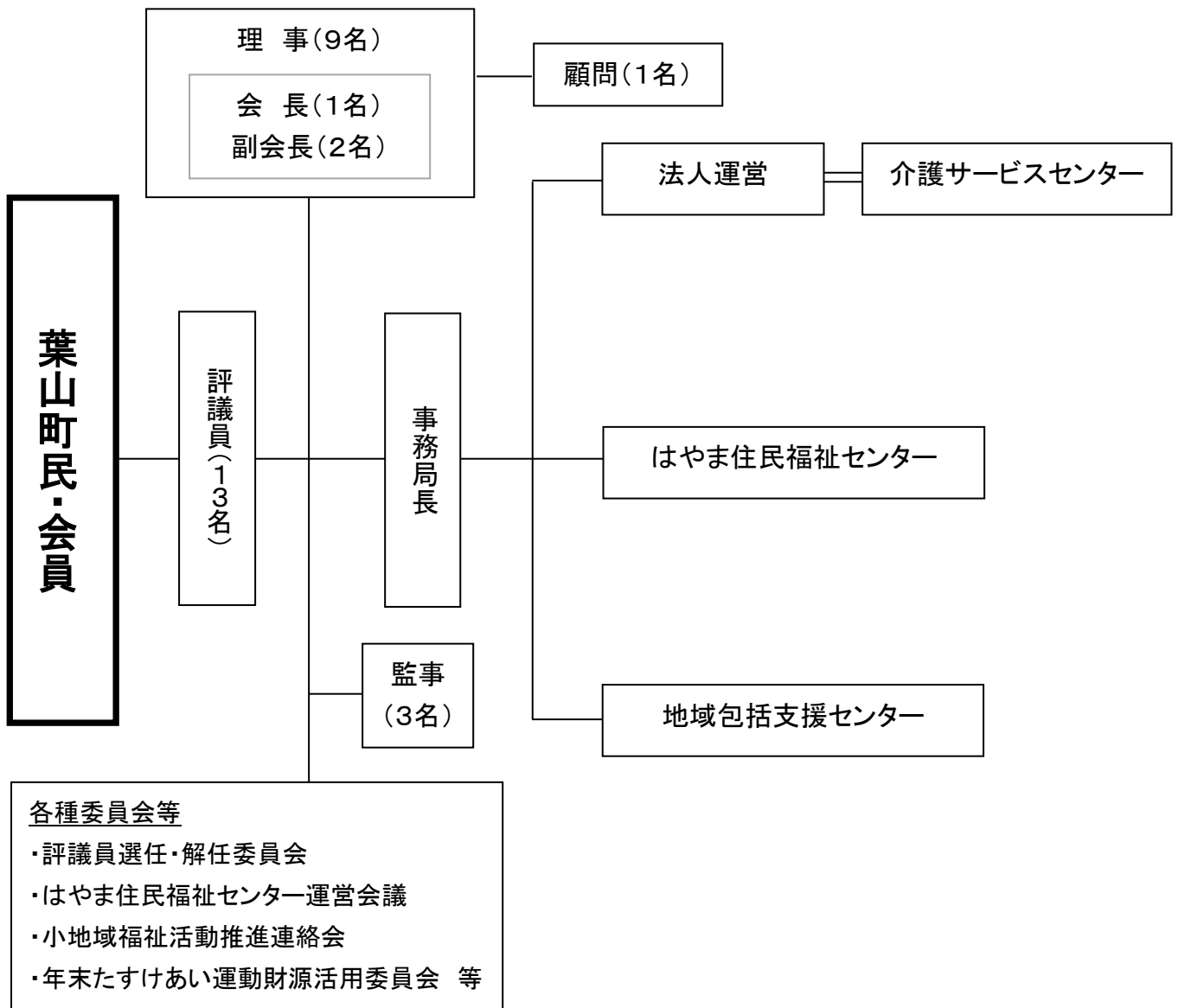
地域包括支援センター部門

- 地域包括支援センターが1か所増設されることから、担当エリア内のよりきめ細かな高齢者支援体制を築いていくとともに、センター間の情報の共有と連携、役割分担に努めます。

介護サービスセンター部門

- 介護サービスセンターの移転に伴う新拠点での体制整備を行います。
- 積極的な利用者確保に努め収益増による安定的な運営を目指します。

社会福祉法人 葉山町社会福祉協議会 組織図



平成30年度 収入予算額：182,528,000円

(単位：千円)

勘定科目	H30 見込額	前年度 当初予算額	増減
一般会費収入	4,220	4,257	-37
賛助会費収入	375	427	-52
寄附金収入	408	655	-247
社協補助金収入	58,319	57,784	535
あんしんセンター事業補助金収入	738	738	0
交通遺児補助金収入	150	150	0
一般募金配分金収入	2,581	2,693	-112
歳末たすけあい配分金収入	4,979	4,267	712
生きがいミニデイサービス事業受託金収入	2,051	1,988	63
送迎サービス事業受託金収入	3,547	2,560	987
地域包括支援センター事業受託金収入	23,258	23,696	-438
介護用品支給事業受託金収入	1,921	1,902	19
コミュニティソーシャルワーク基礎研修受託金収入	115	-	115
体制整備事業受託金収入	12,740	-	12,740
生活福祉資金貸付事業受託金収入	2,006	2,178	-172
日常生活自立支援事業受託金収入	2,386	2,385	1
償還金収入	197	231	-34
参加費収入	96	110	-14
利用料収入	1,352	1,497	-145
広告料収入	40	40	0
居宅介護料収入	12,923	18,849	-5,926
居宅介護支援介護料収入	23,700	19,719	3,981
介護予防支援介護料収入	5,290	10,634	-5,344
介護予防・日常生活支援総合事業収入	8,387	-	8,387
自立支援給付費収入	896	2,190	-1,294
受取利息配当金収入	410	453	-43
ともしび基金受取利息収入	1,091	650	441
▽ 活動振興基金受取利息収入	1	1	0
受入研修費収入	50	50	0
雑収入	115	120	-5
▽ 活動振興基金積立資産取崩収入	500	2,500	-2,000
拠点区分間・サービス区分間繰入金	5,927	5,888	39
前年度繰越金	1,759	3,678	-1,919
収入合計	182,528	172,290	10,238

平成30年度は平成29年度対比+10,238千円となっております。

支出予算額 182,528,000円


事業区分	拠点区分	サービス区分	セグメント a	予算額 (千円)	頁
社会 福祉 事業	事務局	法人運営 (68,884 千円)	事務局運営事業	58,025	5
			役員会事業	1,098	6
			退職積立事業	7,741	6
			広報啓発事業	2,020	7
		基金運営 (1,592 千円)	ともしび基金運営事業	1,091	8
			ボランティア活動振興基金運営事業	501	8
		はやま住民福祉 センター (36,258 千円)	総合相談事業	486	9
			福祉教育・人づくり事業	547	10
			組織化事業	2,041	11
			生きがいミニデイサービス事業	2,051	12
			活動資金・物資の支援	5,361	13
			はやま住民福祉センター運営等事業	246	14
			在宅援護事業	542	14
			送迎サービス事業	3,547	15
			介護用品支給事業	2,178	16
			体制整備事業	12,740	16
		日常生活自立支援事業	4,513	17	
		生活福祉資金貸付事業	2,006	17	
		介護 サービス センター	介護保険サービス (41,650 千円)	居宅介護支援事業	23,700
	訪問介護事業			17,950	18
	障害サービス (896 千円)		居宅介護等事業	896	19
	ホームヘルプ (1,340 千円)		ホームヘルプサービス事業	1,340	19
	地域包括支 援センター	地域包括支援 (31,908 千円)	包括的支援事業	31,908	20

平成30年度 社会福祉法人葉山町社会福祉協議会 事業計画書

事務局 電話：875-9889 平日8:30~17:15

法人運営

事務局運営事業		担当部門：法人運営（電話875-9889）	
		予算額：58,025,000円 （昨年度比：-686,000円）	
		町補助金 繰越金 一般会費 サービス区分間繰入金 受取利息配当金	54,331,000円 1,759,000円 1,052,000円 473,000円 410,000円
事務局職員の人件費や事務所の運営経費等に使われます。職員の人件費は葉山町からの補助金、事務所の運営経費は、一般会費や繰越金等により賄われます。			
事業名	実施時期	内容	
事務局運営	通年	事務局職員の人事管理や事務所の運営等を行います。事務局の営業は平日8:30~17:15となっております。	
一般・賛助会費の確保	一般 4月 賛助12月	積極的な広報・普及に努め、意志ある会費として、住民、団体、企業等の理解と協力を得るとともに、地域福祉の推進を図ることを目的とする各種事業に有効活用させていただきます。	
各種寄付金の受け入れ	随時	民間社会福祉事業の振興と地域福祉活動の増進、ボランティア活動の積極的な振興を図ることを目的に、各種寄付金を随時受け付けます。	
苦情解決第三者委員連絡会	3月	本会事業に関する町民、利用者等からの苦情に対して、適切な解決を図り、利用者等の権利を擁護するとともに、事業の質の向上及び運営の信頼性を高めることを目的に、第三者委員連絡会を開催します。	
実習生の受け入れ	9月~ 10月	福祉の人材育成を目的に、福祉の国家資格である社会福祉士取得を目指す実習生（学生）を受け入れます。 受け入れ予定者数：2人	

役員会事業	担当部門：法人運営（電話 875-9889）	
	予算額：1,098,000円 （昨年度比：-133,000円）	
	サービス区分間繰入金 町補助金 介護報酬収入	618,000円 360,000円 120,000円

法人運営に関する会議等を開催する事業です。役員等の費用弁償や会議費等に使われます。
 ※日程は変更する場合があります。

事業名	実施時期	内容
正副会長会議	随時	本会の運営・経営など法人運営全般における重要事項の協議の場として開催します。 6/1・10/17・12/18・2/13・3/15 全5回予定
理事会	随時	本会の業務執行機関として開催します。理事の構成は町内会・民生委員・行政・関係機関等から選出された9人です。 6/11・10/23・12/21・2/18・3/20 全5回予定
監事会	4半期ごと 年4回	本会の業務執行や財産などの状況の監査機関として開催します。監事の構成は、関係機関の財務経験者3人です。 6/5・8/21・11/20・2/22 全4回予定
評議員会	随時	本会の運営に関する重要事項の議決機関として開催します。評議員の構成は町内会、民生委員、福祉団体等13人です。 6/26・3/27 全2回予定

役職員のスキルアップ

事業名	実施時期	内容
役職員等研修	1月頃	役員（理事・監事）等及び職員を対象に、湘南ブロック社協共同で、地域福祉の推進に関する研修を行います。

退職積立事業


事業名	実施時期	内容
退職金の積立	—	全国社会福祉団体職員退職手当積立基金にて退職手当の積立金を運用します。

広報啓発事業	担当部門：法人運営（電話 875-9889）	
	予算額：2,020,000円 （昨年度比：-119,000円）	
	一般会費 賛助会費 寄付金 広告料 受入研修費	1,262,000円 375,000円 293,000円 40,000円 50,000円

町民の福祉に対する理解促進とボランティア・市民活動団体等の活動のさらなる活性化を目的に、広報啓発に関する事業を行います。

事業名	実施時期	内容
葉山町社会福祉協議会だより	5月・7月 9月・1月	本会が実施する事業や各関係団体の活動内容等を、町民や各関係団体等へ広く情報提供することを目的に、広報紙を発行します。
ホームページ等の管理	随時	本会の組織概要や事業計画、各種事業の説明などの情報を常時、幅広く提供することを目的に、ホームページ等を管理します。 ホームページ http://www.hayamashakyo.com/ ブログ http://hayamashakyo.blog.fc2.com/
社会福祉功労者表彰式	2月25日	社会福祉に功労のあった方や社会福祉活動に協力援助された方に対して、表彰及び感謝の意を表することを目的に、表彰式を開催します。 表彰予定者数：25人
葉山福祉まつりの協力	9月23日	福祉に対する理解促進とボランティア等の活動のさらなる活性化を目的に、一般住民、福祉関係団体、福祉施設等を参加対象として実行委員会が主催する福祉まつりに協力します。
社会を明るくする運動の協力	7月頃	犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的とした社会を明るくする運動に協力します。

基金運営


基金運営事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
		予算額：1,592,000円 (昨年度比：+861,000円)	
		受取利息配当金 ボランティア活動振興基金 積立資産取崩	1,092,000円 500,000円
<p>個人・企業・団体・学校などから寄せられた寄附金を積み立て、その果実（預金利息など）や一部を利用して社会福祉協議会の事業に活用します。</p> <p>また、はやま住民福祉センターに指定寄付があった場合には、非常用持出袋等の購入や緊急一時支援事業等に活用させていただきます。</p>			
事業名	実施時期	内容	
ともしび基金運営	随時	個人・企業・団体・学校などから寄せられた寄附金を積み立て、その果実（預金利息など）を地域福祉活動の充実等に充当します。	
ボランティア活動振興基金運営	随時	個人・企業・団体・学校などから寄せられた寄附金を積み立て、その果実（預金利息など）を、ボランティア団体等への支援に充当します。	


<他団体の事務局運営>

事業名	実施時期	内容
神奈川県共同募金会葉山町支会	通年	共同募金運動（赤い羽根募金・年末たすけあい募金）の実施主体である神奈川県共同募金会の葉山町支会の事務局を担います。 赤い羽根募金：10月 年末たすけあい募金：12月
葉山町老人クラブ連合会	通年	概ね60歳以上の高齢者が仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、自身の生活と地域を豊かにする活動を目的とした老人クラブの事務を取り扱います。



はやま住民福祉センター


総合相談事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：486,000円 (昨年度比：-83,000円)		
	一般会費 共同募金(一般)	276,000円 210,000円	
<p>住民のあらゆる生活相談・ボランティア活動等の総合相談窓口として、地域の福祉問題を発見することを目的に、住民活動をはじめ行政や事業所と連携しながら問題の解決を図ると共に事業等を実施します。</p>			
事業名	実施時期	内容	
地域福祉総合相談事業	通年	コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地区担当制によりあらゆる生活相談や福祉活動に関する相談を受け、住民・行政・福祉関係事業者との連携のもと支援を行うとともに、住民活動の創設や改善を支援します。 生活相談：延800件、活動相談：延80件	
相談員研修事業	通年	地域福祉総合相談事業を担当する相談員のスキルアップを図ることを目的とした外部研修に参加します。	
ボランティア等登録事業	通年	①小地域福祉活動やボランティア・NPO活動を実践する団体や個人を登録します。 ②送迎ボランティア活動コーディネートのため、マニュアルを整備します。	
ボランティア保険取次	通年	本会の構成員や会員、登録団体・個人を対象に、全国社会福祉協議会ボランティア保険等への加入受付を行います。	
はやま市民活動ガイドブック	8月	葉山町内における住民主体の活動情報について、活動の概要や活動場所、連絡先などの情報を1冊のガイドブックにまとめて発行します。 発行部数：1,500部	
保健センターにおける子育て支援パネルの展示	通年	葉山町保健センター待合室に掲示板を設置して、情報が届きにくい子育て支援の住民活動の紹介用パネルを展示します。	
各種寄附金の受入れ	通年	民間社会福祉事業と地域福祉活動の振興を図ることを目的に、各種寄附金を受け付けます。 寄付受付見込件数4件 寄付見込額400,000円	

福祉教育・人づくり事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：547,000円 (昨年度比：-525,000円)	
	一般会費 コミュニティソーシャル ワーク基礎研修受託金 参加費	336,000円 115,000円 96,000円

生きづらさを抱える人たちの理解促進と共に地域福祉の担い手の発掘と育成を行ないます。

事業名	実施時期	内容
地域包括ケア推進研修(町委託)	通年	逗子市社会福祉協議会と共催で、葉山町及び逗子市の地域福祉に関わる住民を主な対象に、個別支援と福祉のまちづくりの中核を担う人材を育成します。 基礎研修2回、フォローアップ研修3回 参加予定人数20人(葉山町のみ)
地域福祉推進研修(小地域福祉活動入門講座)(新規)	未定	小地域福祉活動の担い手不足や高齢化の課題に対応するため、担い手の発掘を図るとともに、地域の福祉課題や小地域福祉活動に関する基本的な知識について学びます。 定員50名
地域福祉推進研修(小地域福祉活動リーダー研修)	未定	小地域福祉活動に関する活動を行う団体の役員等が、組織運営の方法について学びます。 定員20名
送迎ボランティア養成講座	未定	生活支援活動や家族介護を行う住民を主な対象に外出支援に関する研修を行い、送迎の担い手発掘と社会参加の促進を目的に開催します。交通バリアフリー協議会で企画・実施します。 参加予定人数30人
手話奉仕員養成講座(入門課程)	4~8月	地域生活支援事業実施要綱に基づき、講座修了後に基礎課程へのステップアップ又は手話奉仕員活動を希望する町民を対象に開催します。逗子市と隔年で実施し、本年度は逗子市が主体で講座を開催します。
点訳ボランティア養成講座(初級編)	10月~2月	点訳ボランティア活動を希望する町民を対象に、基本的な点訳技術の習得及び点訳ボランティアの人材育成を目的に開催します。 参加予定人数20人


夏休み福祉活動体験学習	7月～8月 4日間	思いやりのある心を育て、福祉への関心を高めるため、町内在住・在学の中・高校生を対象に町内福祉施設等で体験学習を行います。 10施設 参加予定人数70人
-------------	--------------	---

組織化事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話875-9889)	
	予算額：2,041,000円 (昨年度比：-882,000円)	
	共同募金(歳末) 一般会費 共同募金(一般)	1,067,000円 678,000円 296,000円


小地域福祉活動推進組織、NPO、ボランティア、当事者活動の組織づくりとともに、既存の組織との協働や財政的支援を実施します。また、災害ボランティアセンターの設置運営に関する平常時の活動を行います。

事業名	実施時期	内容
小地域福祉活動推進組織設置・運営支援事業	通年	小地域福祉活動推進組織の設置支援及び推進組織の会議等へコミュニティソーシャルワーカーを派遣して事業の企画・立案・実施等に関する支援や研修会の企画立案を支援します。 7団体、コミュニティソーシャルワーカー3名
小地域福祉活動推進組織補助事業	通年	小地域福祉活動推進組織の設立準備及び継続活動に係る事務費並びに事業費を補助します。 補助額10万円以内、7団体
ふれあいいいききサロン助成事業	通年	生活の孤立を防ぐことを目的に、町内会館や個人宅等を利用し、地域住民が実施する出会いや仲間作りの場作りの活動を行う団体に対して、相談助言と助成金の交付を行います。 継続15ヶ所、新規2ヶ所
子ども会設置支援事業	通年	子ども会の新設・復活の活動を支援するため、活動資金の支援及び活動に関する相談、地域の諸団体との連携調整を行います。 1団体 3万円以内
災害ボランティアセンター運営事業	①通年 ②未定	①葉山災害ボランティアセンター連携会議 3回 ②葉山災害ボランティアセンター設置運営訓練 1回 ③葉山災害ボランティアセンター備品整備

交通バリアフリー協議会の運営	通年	地域福祉活動計画の重点課題である交通バリアフリーの実現に向けて、関係機関・団体の協働により、小地域における無償送迎活動の普及など課題解決のための仕組みを作ります。 協議会開催回数 6 回、指針の発行 300 部、住民向け学習会の開催 1 回
【新規】 集いの場づくり事業	通年	日常生活における引きこもり状態にある社会的孤立の解消や就労などの社会参加に結びつけるための定期的な交流とコミュニケーションスキルやソーシャルスキルを養う場づくりを行います。 年 5 回程度


葉山町生きがいミニデイサービス事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 8 7 5 - 9 8 8 9)	
	予算額：2, 0 5 1, 0 0 0 円 (昨年度比：+ 6 3, 0 0 0 円)		
	町委託金	2, 051, 000 円	
高齢者の介護・孤立の予防、生きがいづくりを目的とする、生きがいミニデイサービス事業を実施する団体へ業務を委託するとともに立ち上げの支援や運営の支援を行います。			
事業名	実施時期	内 容	
葉山町生きがいミニデイサービス事業	通年	住民主体で実施する生きがいミニデイサービス事業実施団体へ業務を委託するとともに傷害保険及び賠償責任保険への一括加入、連絡会や研修の開催を通じて活動を支援します。 委託見込:21団体 延実施回数:280回 延参加人数:7,300人 (内要支援～要介護2=150人、要介護3以上=50人)	

活動資金・物資の支援		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
		予算額：5,361,000円 (昨年度比：-1,310,000円)	
		共同募金(歳末) サービス区分間繰入金 共同募金(一般) 一般会費 雑収入 寄付金	3,855,000円 533,000円 438,000円 370,000円 115,000円 50,000円
住民主体の福祉活動を促進するため、資機材や活動資金の提供を行います。			
事業名	実施時期	内容	
災害時要援護者ネットワークづくり事業	7月、12月	葉山町災害時要援護者ネットワークづくり事業登録者等の生活の孤立を防ぎ、日常の見守りや助け合いを促進することを目的に、小地域福祉活動推進組織等へ防災用品を配布します。 予定対象者数：80人(新規)、850人(継続)、担い手数430人	
年末たすけあい運動助成事業	①通年 ②4月～ ③8月～ ④4月～ ⑤4月～	年末たすけあい運動の募金を活用し、住民同士の助けあいの活動に対する助成を行います。 ①年末たすけあい運動財源活用委員会：4回 ②小規模助成：総額800,000円(25団体程度) ③一般助成：総額2,000,000円(5団体程度) ④小地域支えあい助成：総額500,000円(6団体程度) ⑤災害ボランティアセンター助成：総額100,000円(1団体)	
ボランティア室の貸出	通年	住民の地域福祉活動の支援を目的に、はやま住民福祉センターに登録する団体を主な対象としてボランティア室等を貸し出します。	
地域福祉活動機材等の貸出	通年	住民の地域福祉活動の支援を目的に、はやま住民福祉センターに登録する団体を主な対象として、活動機材等を貸し出します。	
拠点整備助成事業	通年	小地域福祉活動推進組織等の専用の拠点を確保するために必要な建物の増改築や備品購入のための費用を助成します。 助成予定：1個所 助成予定額：50万円	

はやま住民福祉センター運営等事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：246,000円 (昨年度比：-32,000円)		
	一般会費	246,000円	

～お隣同士をもう一人！社会を広げるお手伝い～をキャッチフレーズに住民の参画を得ながら「はやま住民福祉センター」を運営します。

事業名	実施時期	内容
はやま住民福祉センター運営会議	通年	はやま住民福祉センターの適正な運営を図ることを目的に開催します。 開催回数:3回
地域福祉活動計画進行管理事業	通年	葉山町地域福祉推進プランの合同事務局会議の開催と進行管理委員会の設置運営を行います。
小地域福祉活動推進連絡会	通年	小地域福祉活動推進組織関係者の情報交換、時代を担うリーダー育成、インフォーマル会議との連携強化のため事業の共同企画や情報交換等の会議を実施します。 開催回数:3回


在宅援護事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：542,000円 (昨年度比：-570,000円)		
	償還金	197,000円	
県社協補助金	150,000円		
サービス区分間繰入金	70,000円		
寄付金	65,000円		
共同募金(歳末)	57,000円		
共同募金(一般)	3,000円		

在宅生活を営むうえで支障のある家庭に対して、資金の貸付や給付、現物給付等を行い、その世帯の自立支援を促す事業等を実施します。


事業名	実施時期	内容
交通遺児援護事業	通年	交通遺児とその世帯を対象に、神奈川県社会福祉協議会が行う交通遺児援護事業への申請手続きや激励金・見舞金支給の支援を行います。 激励金：1人、見舞金：1人
法外援護事業	通年	町内に居住していない所持金のない方を対象に、1,500円を上限とした交通費や食事代等を支給します。 支給予定件数：2件
緊急一時支援事業	通年	低所得や介入困難など生活に困窮する方を対象に、緊急かつ一時的に必要な食事や家事支援等について原則現物による支給を行います。 支給予定者数：①食料等3人、②業務委託1人、③医療費等1人
日常生活用具の貸与	通年	車椅子などの生活用具の一時的利用や使用・操作方法等を習得しようとする方などを対象として、車椅子などの生活用具を無料（期限有り）で貸出します。 延貸出件数（見込み）：80件
たすけあい資金貸付事業	通年	一時的に生活に困窮している世帯の経済的自立と生活意欲の向上を目的に、一時的に必要な資金の貸付と相談支援を行います。 既貸付件数：7件 新規予定貸付件数：5件


【廃止】


ボランティア配食サービス

送迎サービス事業		担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：3,547,000円 (昨年度比：+31,000円)		
	町委託金	3,547,000円	
<p>寝たきりや常時車椅子を使用、公共交通機関の利用が困難などの障害児者や高齢者の外出、移動の支援を目的に、病院への入退院や福祉施設への入退所時などの送迎を実施します。</p> <p>運行範囲：神奈川県内 料金：無料（駐車場代や有料道路代等の実費は自己負担）、 予約制：1ヵ月前より受付、登録予定者数：100人 延利用回数（見込み）：700回</p>			

介護用品支給事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：2,178,000円 (昨年度比：-91,000円)	
	町委託金 共同募金	1,921,000円 257,000円
<p>在宅介護における介護者への支援を目的に、要介護3～5および重度障害児者で常時排せつ用具を使用する方を対象にして、紙おむつ等の介護用品を宅配支給します。</p> <p>実施時期:2ヵ月に1回 利用予定人数:175人</p>		

生活支援体制整備事業	担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)	
	予算額：12,740,000円 (新規事業)	
	町委託金	12,740,000円
<p>生活支援コーディネーターを配置し、第1層協議体との連携のもと介護保険「生活支援体制整備事業」第2層協議体の設置運営を行い、小地域において、広く生活関連分野の関係者のネットワークを構築するとともに、地域の福祉課題解決のため、住民主体の取り組みを支援します。生活支援コーディネーター3名(10月より4名)、協議体の設置8か所整備予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活支援コーディネーター研修への出席 ○事業周知 ○第2層協議体の設置支援 ○第2層協議体の運営支援(事務局) ○第1層協議体への参加 ○地域診断事業(主に堀内、長柄、下山口) 		

<p>日常生活自立支援事業 (葉山あんしんセンター)</p>	<p>担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)</p>	
	<p>予算額：4,513,000円 (昨年度比：-817,000円)</p>	
	<p>県社協委託金 共同募金（一般） 町補助金 利用料</p>	<p>2,386,000円 1,377,000円 738,000円 12,000円</p>
<p>地域で安心した生活が送れるよう、判断能力が不十分な認知症高齢者や障害者等を対象にした福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理サービスを行います。</p> <p>利用者数：福祉サービス利用援助／15人（内新規：6人）、金銭管理サービス／15人（内新規：4人）、書類等預かりサービス／3人（内新規：1人）、権利擁護専門相談／4人</p>		


<p>生活福祉資金貸付事業</p>	<p>担当部門：はやま住民福祉センター (電話 875-9889)</p>	
	<p>予算額：2,006,000円 (昨年度比：-172,000円)</p>	
	<p>県社協委託金</p>	<p>2,006,000円</p>
<p>神奈川県社会福祉協議会から業務の一部を受託し、低所得世帯、障害者又は高齢者の世帯などの経済的自立と安定した生活に向けた支援を目的に、一時的に必要な資金の貸付と相談支援を行います。予算は事務費等に使われ、貸付金は神奈川県社会福祉協議会より執行されます。</p> <p>既貸付件数：17件 新規貸付件数（見込み）：3件</p>		

介護サービスセンター 電話：877-1031 8:00~18:00 日曜休

事務所：葉山町一色1437-3 ハビテーション葉山013 (2018.4より移転)

介護サービスセンター


◆介護保険サービス事業

居宅介護支援事業(介護保険事業)	担当部門：介護サービスセンター (電話877-1031)	
	予算額：23,700,000円 (昨年度比：+3,981,000円)	
	介護保険収入	23,700,000円
<p>住み慣れた地域での在宅生活を支援することを目的に、要介護等の認定を受けた方を対象として、認定を受けた方の心身の状況とご本人やご家族の希望をふまえ「居宅サービス計画(ケアプラン)」を作成します。(実施時期：通年) 作成予定件数：要介護 1,800件・要支援 220件</p>		


訪問介護事業(介護保険事業)	担当部門：介護サービスセンター (電話877-1031)	
	予算額：17,950,000円 (昨年度比：-899,000円)	
	介護保険収入 利用者負担金	16,158,000円 1,792,000円
<p>住み慣れた地域での在宅生活を支援することを目的に、要介護、要支援の認定を受けた方を対象に、身体介護や生活援助等のヘルパー援助を行います。(実施時期：通年) 延訪問予定回数：要介護 430回・要支援 330回</p>		




◆障害者総合支援サービス事業

居宅介護等事業	担当部門：介護サービスセンター (電話 877-1031)	
	予算額：896,000円 (昨年度比：-1,294,000円)	
	障害者総合支援収入	896,000円
<p>住み慣れた地域での在宅生活を支援することを目的に、支給決定を受けた障害（児）者を対象に障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づく身体介護や生活援助等のヘルパー援助を行います。（実施時期：通年）</p> <p>延訪問予定回数：840回</p>		

◆ホームヘルプサービス事業

ホームヘルプサービス事業（自費型）	担当部門：介護サービスセンター (電話 877-1031)	
	予算額：1,340,000円 (昨年度比：± 0円)	
	利用者負担金	1,340,000円
<p>介護保険制度や障害者総合支援法におけるヘルパーの援助では対応できない制度の狭間にある方をサポートすることを目的に、一人暮らしや高齢者世帯、母子父子世帯を対象にした通院等の外出介助や生活援助等のヘルパー援助を行います。（実施時期：通年）</p> <p>延訪問予定回数：140回</p>		

<p>葉山町地域包括支援センター</p>	<p>担当部門：地域包括支援センター (電話877-5324)</p>	
	<p>予算額：31,908,000円 (昨年度比：-2,422,000円)</p>	
	<p>町委託金 介護保険収入</p>	<p>23,258,000円 8,650,000円</p>
<p>高齢者が要介護状態等となることを予防するとともに、要介護状態等となった場合にも可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援します。(実施時期：通年)</p>		

◆介護予防ケアマネジメント事業

事業名	実施時期	内容
<p>一般施策通所介護利用者介護予防プランの作成</p>	<p>通年</p>	<p>要介護・要支援認定を受けていない虚弱高齢者が、機能訓練等の支援を行う一般施策の通所介護を利用する際に必要な介護予防プランの作成を行います。 作成予定者数:2人</p>
<p>事業対象高齢者の調査と評価</p>	<p>9月～ 12月予定</p>	<p>基本チェックリスト等において、支援が必要であると判定された方に対し、町主催の体操教室や口腔栄養教室に参加を呼び掛け、生活状況等の調査と参加結果の評価を行います。 参加予定者数:体操教室15人</p>
<p>一般高齢者体操教室 「ごりっぱ」「おたっしゃ」</p>	<p>ごりっぱ 月2回 おたっしゃ 月1回</p>	<p>要介護・要支援認定を受けていない65歳以上の高齢者の体操教室です。椅子に座ったままできる運動や仲間との交流も楽しめます。費用:無料 ごりっぱ2コース おたっしゃ1コース 参加予定者数:ごりっぱ30人・おたっしゃ15人</p>
<p>健康だよりの発行</p>	<p>月1回</p>	<p>高齢者に気をつけてほしい病気や介護予防に関する情報紙(ほうかつ健康だより)を定期的に発行し、健康の普及啓発をします。 発行予定部数:150部×12回</p>

◆総合相談・支援事業

事業名	実施時期	内容
地域踏査と連携強化 ニーズとニーズを結びつける活動	年4回	定期的に地域踏査し、地域の方々の話に耳を傾け、地域にあるニーズを把握し、そのニーズを関係機関と連携し、協働して解決する仕組みづくりをします。
出張教室	通年	高齢者に関する情報や介護保険制度等の説明、健康に関する情報・出張体操教室など、ご要望に合わせたプログラムを作成し、地域に出向きます。 出張予定:50教室
認知症支援事業	月1回	認知症への理解を深め、介護者への支援とやさしい地域づくりのため認知症カフェを開催します。
出張相談室	月1回	来所相談しづらい地域からの要望により、高齢者の福祉や介護に関しての出張相談を実施します。 出張予定:1か所
認知機能低下予防活動(新規事業)	通年	高齢者が認知機能低下予防活動に積極的に取り組む動機づけを目的とする軽度認知障害スクリーニングテストを行います。

◆権利擁護事業

事業名	実施時期	内容
権利侵害の予防と周知	通年	権利侵害を受けているまたは受ける可能性が高いと考えられる高齢者が、地域で安心して尊厳のある生活を営むことができるよう、警察や関係機関等に地域包括支援センターを周知し、連携の強化を行ない、権利侵害の予防や対応を専門的に実施します。

◆包括的・継続的マネジメント支援事業

事業名	実施時期	内容
事例検討会議	通年	ケアマネジャーや関係機関等と処遇困難ケースや成功事例等を共有し、スキルアップを図ることを目的に必要に応じて随時、事例検討会議を開催します。
地域ケア会議	年3回	多職種協働による「地域包括支援ネットワーク」を通じて、高齢者個人に対する支援の充実を図るとともに、それを支える社会的基盤の整備を推進し、「地域包括ケアシステム」を実現させるため行政と連携して会議を行います。
地域包括支援センター交流会	年3回	葉山町内の介護保険事業者や関係機関等の顔の見える関係づくりの一環として定期的に交流会を開催し、ネットワークの構築を目的に交流会を開催します。

ケアマネジャーの個別相談	通年	地域のケアマネジャーが抱える処遇困難な個別ケース等について情報を共有し、課題の解決をするための支援を行います。
居宅介護支援事業所巡回相談	年1回 秋頃	ケアプランの作成状況の確認や情報提供、会議等の企画など地域のケアマネジャーに寄り添った支援ができるよう葉山町内の居宅介護支援事業所を巡回訪問します。
地域包括支援センター通信	年3回	ケアマネジャーや介護保険事業者を対象に、介護保険制度の最新情報や詐欺等の生活情報など、メールを配信します。
Z-ケアネット幹事会および定例会の参加	月1回	逗葉地区の介護保険事業所連絡会(Z-ケアネット)の幹事会に、オブザーバーとして参加し、定例会の企画に協力し行政とのパイプ役としての情報提供等を行います。

主任ケアマネジャーの会	年3回	逗葉地区の主任ケアマネジャーの交流やスキルアップのための研修会を逗子市内の地域包括支援センターと共催で実施します。
-------------	-----	---

◆介護予防支援事業

事業名	実施時期	内容
介護予防支援	通年	介護保険制度において要支援1・2の認定を受けた在宅高齢者に対して介護予防プランを作成し、在宅生活の相談やサービス提供事業者等と連絡調整をするなど、必要な便宜を図ります。 作成予定者数：直営230人・委託70人

◆要介護認定調査事業

事業名	実施時期	内容
要介護認定調査	通年	介護保険制度の更新認定を受ける方に対して、葉山町と連携して要介護認定調査を実施し、ケースを把握したうえでケアマネジャーと情報を共有し、後方支援を行います。 調査予定者数：40人